

様式第 2 号（第 9 条関係）

会議録

会議の名称		令和 6 年度第 3 回ふじみ野市地域自立支援協議会			
開催日時		令和 6 年 1 1 月 1 5 日（金） 開会時刻 午後 2 時 閉会時刻 午後 4 時			
開催場所		大井総合福祉センター 4 階 多目的ホール			
出席した者の氏名		役職名	氏名	役職名	氏名
		会長	中島 修	委員	岩長 泰志
		副会長	柳川 道子	委員	田中 壽子
		委員	佐藤 麻由美	委員	小林 郁子
		委員	小菅 友美	委員	加藤 千春
		委員	河田 智美	委員	大川 進
		委員	福應 渉	委員	村上 秀貴
会議の議題		(1) 障がい者福祉計画の進捗状況報告について (2) ふじみ野市就労移行支援事業等利用者に対する評価表について (3) 医療的ケア児の協議の場の報告について (4) 部会報告			
会議の公開又は非公開の別		公開			
会議の非公開の理由					
傍聴人の数		2 人			
会議の内容		別紙のとおり			
会議資料		別添のとおり			
事務局		福祉部障がい福祉課			
議事の確定	確定年月日	令和 6 年 1 1 月 1 9 日			
	記名押印 又は署名	役職名 会長 中島 修 ㊟ ※自署の場合は、押印不要です。			

発言の要旨

発言者	議題 ・ 発言内容
事務局	開会
中島会長	あいさつ
事務局	議事 1 (資料に基づき説明)
中島会長	地域生活移行者数の目標値は国・県の方針に基づき自動的に決まるため、達成するのはなかなか厳しいと思う。 質問等はあるか。
佐藤委員	医療的ケア児等に関するコーディネーターの配置について、医療的ケアコーディネーター養成研修の修了者が3名となっているが、実際には3名もいないのではないか。
事務局	研修の修了者は3名だが、実働しているのは2名と把握している。
中島会長	障害福祉サービスの見込量及び実績値について、宿泊系サービスの実績値が低いが、他は概ね良い。
柳川 副会長	短期入所サービスの類型が福祉型、医療型、福祉型（強化）とあるが違いを確認したい。 福祉型（強化）はどういったサービスなのか。
事務局	福祉型（強化）の短期入所は、医療的ケアニーズに対応したサービスである。
柳川 副会長	どの程度の医療的ケアニーズか。 次回の会議までに整理してお伝えする。
事務局	
中島会長	短期入所の実績が目標に対してかなり低い。利用者のニーズを満たせていない可能性があるが、改善の見込みはあるか。

福應委員	私の法人が実施している短期入所事業所は20床あるが稼働率が70%くらいである。 身体障害者対象で、24時間体制ではない、看護職員の配置無しではあるが、受け入れは可能である。
中島会長	計画相談の事業所が足りていない。国の方針としても、本人が希望するならセルフプランでも良いが、それ以外は基本的に障害福祉サービスの利用には計画相談支援がつくのが望ましいため、改善してほしい。
柳川副会長	相談員が不足しており、法人内の事業所の利用者のみ計画相談を受けている場合も多い。また、計画相談支援をできる人材には、重複障害者の個別支援計画作成等、別の業務をしてもらいたいという事情もある。 計画相談の事業所を単独でやるのは、本人の給与分も賄えないため採算が採れない。
中島会長	報酬単価が低いことも原因かと思う。他市の状況はどうか。
事務局	他市も同様の状況と思う。 報酬単価の増額を国へ要望しているが、令和6年度の報酬改定で50単位程度しか上らなかった。 県内では、ふじみ野市はセルフプランの割合が高い方ではないが、市独自の支援策を検討しなくてはいけないと考えている。
中島会長	全国的に厳しい状況ではあるが、何か対応策を検討してほしい。
福應委員	計画相談員の業務として、計画作成に係る業務以外の報酬を算定できない一般相談が非常に多い。 そういった業務を地域生活支援事業の一般相談事業として委託することで、給与面の問題は解決できるのではないかと感じた。 さらに、基幹相談支援センターで困難ケースのフォローをするなど、計画相談支援事業所を包括的に支援する体制を構築できるとセルフプラン率の改善につながると思う。 また、計画の作成にAIを活用するなどして、業務の負担軽減を図る必要もあるかもしれない。
中島会長	利用者の計画作成以外の支援を市でどこまでカバーできるかが課

	題。 A I の活用に関して、厚生労働省のひきこもり・自殺相談などは、SNSやチャットボットの利用が増えている。 また、ハローワークでもA I の活用が進んでいると聞いたがどうか。
加藤委員	大阪などは、メタバースの活用などをしていると聞いているが、埼玉ではまだ進んでいない。
中島会長	議事1について、全体として進捗は良好であるが、改善するべき点もあるので意見を参考に改善して欲しい。
河田委員 ・事務局	議事2 (資料に基づき説明)
中島会長	質問等はあるか。
柳川副会長	特別支援学校からの実習生を受け入れた際、就労継続支援B型か生活介護どちらが適しているのか判断に迷うことがあるが、このアセスメントシートが活かせそうと感じた。
岩長委員	やむを得ず就労移行支援事業が利用できないことの判断は、事業所の考えが強く出てしまう可能性があるため、事業所だけでなく行政も関わらないと難しいのではないかと。
河田委員	市への相談は大前提として考えている。
岩長委員	どこかに文言として入れてほしい。
事務局	他市では、障害者就業・生活支援センターが支援に入る例もある。
小菅委員	事業所としては、利用希望者だけアセスメントすればよいのか。誰がアセスメントの実施主体を決定するのか。
中島会長	アセスメントを実施した事業所と別の事業所を利用することは可能なのか。

福應委員	三芳町では、障がい者就労支援センターが支援に入る。
中島会長	ふじみ野市障がい者総合相談支援センターりあんが中立の立場で支援に入ることは可能か。
河田委員	一般就労相談とは違うが、りあんが支援に入ってくれるのならぜひお願いしたい。
岩長委員	1年生・2年生も同じものを使用するのか。同じ視点で見ていると良い。
事務局	同じものを使用していく予定である。
中島会長	学校と事業所で共通の様式を使用するのはとても良い。 いくつか課題があるので、就労支援部会で整理してほしい。
子ども部 会長（柳 川副会長 ）	議事3 （報告）
中島会長	何か質問等あるか。
柳川副会 長	医療的ケア児の事例検討・協議の場に、当事者にも参加してほしい。
事務局	当事者の意見は非常に大事である。本協議会には委員として医療的ケア児の当事者家族に参加してもらっている。 しかしながら具体的な協議の場では、当事者から様々な意見・要望が出ることが想定されるため、体制の整備が優先と考えている。
佐藤委員	当事者の参加はケアの関係で難しい場合があるので、当事者の負担にならないよう慎重に考える必要がある。

相談支援 部 会 長 (小菅委 員)	議事 4 10月23日に、相談支援事業所の連絡会を開催し、ケース検討を実施した。 11月6日に部会を開催し、ケース検討の結果を報告した。 今後、不足しているサービスの補完のため、インフォーマルの協力体制の整備を進められたらと考えている。
就労支援 部 会 長 (河田委 員)	8月26日に所沢おおぞら特別支援学校及び富士見特別支援学校の進路担当との意見交換会を実施した。 また、11月29日に就労系事業所のネットワーク会議を実施予定である。
こども部 会 長 (柳 川副会 長)	議事3のとおり医療的ケア児の協議の場を開催した。
権利擁護 部 会 長 (村上委 員)	今年度は、「窓口における障がいのある方への配慮マニュアル」の見直しを予定している。次回の部会は年末か年明けの開催を予定している。
精神部会 (田中委 員)	11月13日に今年度第1回の部会を開催し、課題抽出の方法、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの整備の進め方について協議した。 地域移行・退院支援について、PSW（精神保健福祉士）との情報共有を進めていく。 1月29日に次回の部会を予定している。
中島会長	その他 その他何かあるか。
事務局	10月にりあんスペースを開設した。「活動スペース」「情報・交流スペース」「談話スペース」を設けている。また、第2土曜日には余暇活動支援事業を実施している。 12月7日に障害者週間推進事業「第29回ふれあい広場」を開催する。 次回の会議は、令和7年2月6日（木）午後2時から開催する。

柳川 副会長	閉会あいさつ
--------	--------